

(参考)

1. 那覇空港滑走路増設事業の概要

- ・ 那覇空港は、沖縄の玄関口として国内外各地を結ぶ拠点空港であるとともに、県内離島と沖縄本島を結ぶハブ空港として重要な役割を果たしており、沖縄県のリーディング産業である観光・リゾート産業をはじめとして、様々な経済活動や県民生活を支える重要な社会基盤である。
- ・ 那覇空港は、滑走路1本の空港としては国内で2番目に利用度が高い。この状況を国内の主要空港と比較すると、滑走路1本であるものの旅客数は5位、貨物取扱量は4位（国際貨物取扱量では3位）である【空港管理状況調書：平成23年度】。これに伴い、夏休みや春休みにあたる観光シーズンのピーク時を中心に増便がなされているが、希望する便の予約が取れないなどの状況が生じている。
- ・ このため、本事業は、将来の需要に適切に対応するとともに、沖縄県の持続的振興発展に寄与するため、また、将来にわたり国内外航空ネットワークにおける拠点性を発揮しうよう、那覇空港の沖合に2本目の滑走路を新設するものである。

2. 那覇空港滑走路増設事業に係る環境影響評価手続の主な経緯

平成25年6月26日 事業者（内閣府沖縄総合事務局長、大阪航空局長）から国土交通大臣に対し評価書を送付

6月26日 国土交通大臣から環境大臣に対し評価書を送付

8月5日 環境大臣から国土交通大臣に評価書に対する意見を送付

3. 今後のスケジュール

- ・ 内閣府沖縄総合事務局、大阪航空局は、国土交通大臣の意見を踏まえ評価書の補正を行い、補正後の評価書を関係都道府県知事、市町村長及び事業の免許等を行う者へ送付するとともに公告、縦覧する。これにより環境影響評価の手続は終了する。